

## 問 豊間根小学校トイレの浄化槽化は

## 答 検討を進めていく



議員 木村 洋子  
（日本共産党）

**問** 豊間根小学校のトイレは簡易水洗とはなっているが、くみ取りであり、臭気の問題や衛生上の観点からも浄化槽にするべきではないか。

**松葉教育長** 財源確保や設置条件等の課題の解決に向けた検討を進め、児童にとってより良い生活環境となるように努める。

**問** 多くの住民が利用する集会所等の公共施設のトイレにおいて、コミュニティ形成の場としての利便性の面や避難所としての役割などから、浄化槽化を進めていくべきではないか。

**佐藤町長** 既存の集会所について、これまで簡易式水洗トイレなどへの改修を進めて

きたが、今後、事業費などを踏まえながら浄化槽整備について検討していく。

## 問 産後ケアの現状は



育児相談支援の利用率アップが求められます

## 答 悩みの傾聴など実施

**問** 女性のライフステージに応じた健康支援の在り方が注目されている。とりわけ、産後は心身の体調変化が大きいことから、産後ケアが重要であるが、現状は。

**町長** 母親の身体の疲労回復と心理的な安定を図ることを目的に、来所型や訪問型支援に

より、悩みの傾聴及び効果的な休息の取り方等を助言、授乳支援や育児相談などを実施している。利用状況は、令和5年10月末で45人中29人が利用し、利用率64.4%、延べ利用人数47人である。今後も引き続き利用者の希望に寄り添い、産後のサポートに取り組む。

## 問 医師等養成奨学金の設立は

## 答 現時点で、設立の考えはない

**問** 県内でも、とりわけ沿岸地域は、医師不足が顕著である。地域医療を守る会主催の講演によると、医師だけでなく、レントゲン技師や薬剤師などの医療関係者も不足しているとのことだった。県内の自治体では、医学士対応の奨学金制度を設立し効果が出ているところもある。当町においても医師や医療関係者に対しての奨学金制度を設立し、育成に力を入れるべきではないか。

**町長** 医師の育成については、県国民健康保険団体連合会が事業主体となつて実施している市町村医師養成事業に対し負担金を支出している。当事業により県全体で医師の養成に取り組むことが効果的と考える。医療関係者

については、大学や専門学生に対する奨学金制度を設けているとともに、奨学金の貸与を受け、当該奨学金を返還する方が町内に在任して、民間の診療所等に勤務する場合、奨学金の返還額の一部を助成していることから、現時点で医師や医療関係者に対する奨学金制度を設立する考えはない。

**要望** 以前山田病院に勤務していた際、研修医がいたが、その研修医は奨学金制度で実績を上げている所から来ており、地域医療に貢献したいというのがありありと伝わってきた。奨学金をもらって学業をやっていると、ふるさと愛を感じた。医師の育成を町でも前向きに進めてほしい。